

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 12 月 14 日(水曜日) ~ 平成 23 年 12 月 20 日(火曜日))

平成 23 年 12 月 21 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 第 30 回宇宙ステーション利用計画ワークショップの開催について
12 月 16 日(金曜日)、日本学術会議講堂において、JAXA の主催(日本学術会議、文部科学省共催)により、第 30 回宇宙ステーション利用計画ワークショップが開催された。今回のワークショップでは、日本の「きぼう」の最新の利用状況や利用成果のほか、今後の「きぼう」利用の方向性などについて紹介された。また、米国・欧州・カナダ・ロシアの利用成果や最新の利用計画の紹介を通じて、今後の国際協力ミッション等について議論された。
- 科学・技術フェスタ in 京都 2011 の開催について
12 月 17 日(土曜日)及び 18 日(日曜日)、国立京都国際会館において、科学・技術フェスタ in 京都 2011 が開催された。17 日には、科学・技術フェスタの一環として、「はやぶさ」ギネス世界記録認定記念式が開催され、「はやぶさ」のギネス世界記録認定を記念して中川正春文部科学大臣から川口淳一郎教授に記念品が贈呈された。

- 観測ロケット(S-310-40 号機)の打上げ結果について
12 月 19 日(月曜日)23 時 48 分(日本標準時間)、JAXA は夜間中緯度電離圏領域における電波伝搬解析を目的とした観測ロケット S-310-40 号機を内之浦宇宙空間観測所から打ち上げた。
ロケットの飛行および搭載された機器の動作は全て正常で、計画どおりに全ての観測を終え、内之浦南東海上に落下した。発射から約 80 秒後に高度 103 km 付近において電子密度の高い領域を観測し、ロケットが予想していた高密度プラズマ領域を通過したことが確認された。現在、詳細なデータ解析を実施しているところ。
なお、今回の観測ロケットでは、ロケットの点火や管制および機体計測などをおこなう新開発の統合型搭載機体管制装置(統合型アビオニクス)が採用され、その飛行試験も兼ねて実験を実施した。この機能も正常で、今後打ち上げる観測ロケットはこのシステムで運用される予定。

宇宙開発に関する海外の動向

- 米スペース X 社、「ドラゴン」宇宙船の第 2 回試験打上げを 2012 年 2 月 7 日に実施へ 【米】
12 月 9 日(金曜日)(米国東部時間)、NASA は、米スペース X (SpaceX: Space Exploration Technologies) 社による有人/貨物宇宙船「ドラゴン(Dragon)」の第 2 回試験打上げを、2012 年 2 月 7 日に実施すると発表した。現在進行中の最終安全審査、試験及び検証が完了した場合、当初 3 回目の打上げで実施予定であった ISS へのランデブー・ドッキング試験も今回のフライトで実施される予定。同試験が成功した場合、ドラゴンの試験打上げは今回で終了となる。

- ソユーズロケットによる軍事衛星等の打上げに成功【欧、露、智】
12月17日(土曜日)2時3分(世界標準時、以下同じ)、仏アリアンスペース社は、ギアナ宇宙センターより、ソユーズ ST-A/フレガト MT(Soyuz STA/Fregat-MT)を打ち上げ、フランスの軍民両用地球観測衛星「プレアデス 1(Pleiades-1)」、軍事偵察技術実証衛星「ELISA(Electronic Intelligence by Satellite)」4機、及びチリ政府の地球観測衛星「SSOT」の所定の軌道投入(低軌道)に成功した。
- 長征ロケットによる通信衛星の打上げに成功【中、ナイジェリア】
12月19日(月曜日)16時14分、中国は西昌衛星発射センターより、長征3Bロケットを打ち上げ、ナイジェリアの通信衛星「ニグコムサット IR(Nigcomsat-IR)」の所定の軌道投入(静止トランスファー軌道)に成功した。